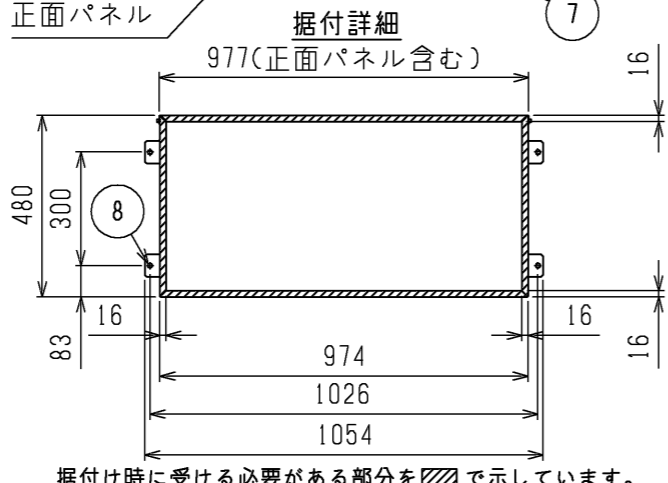
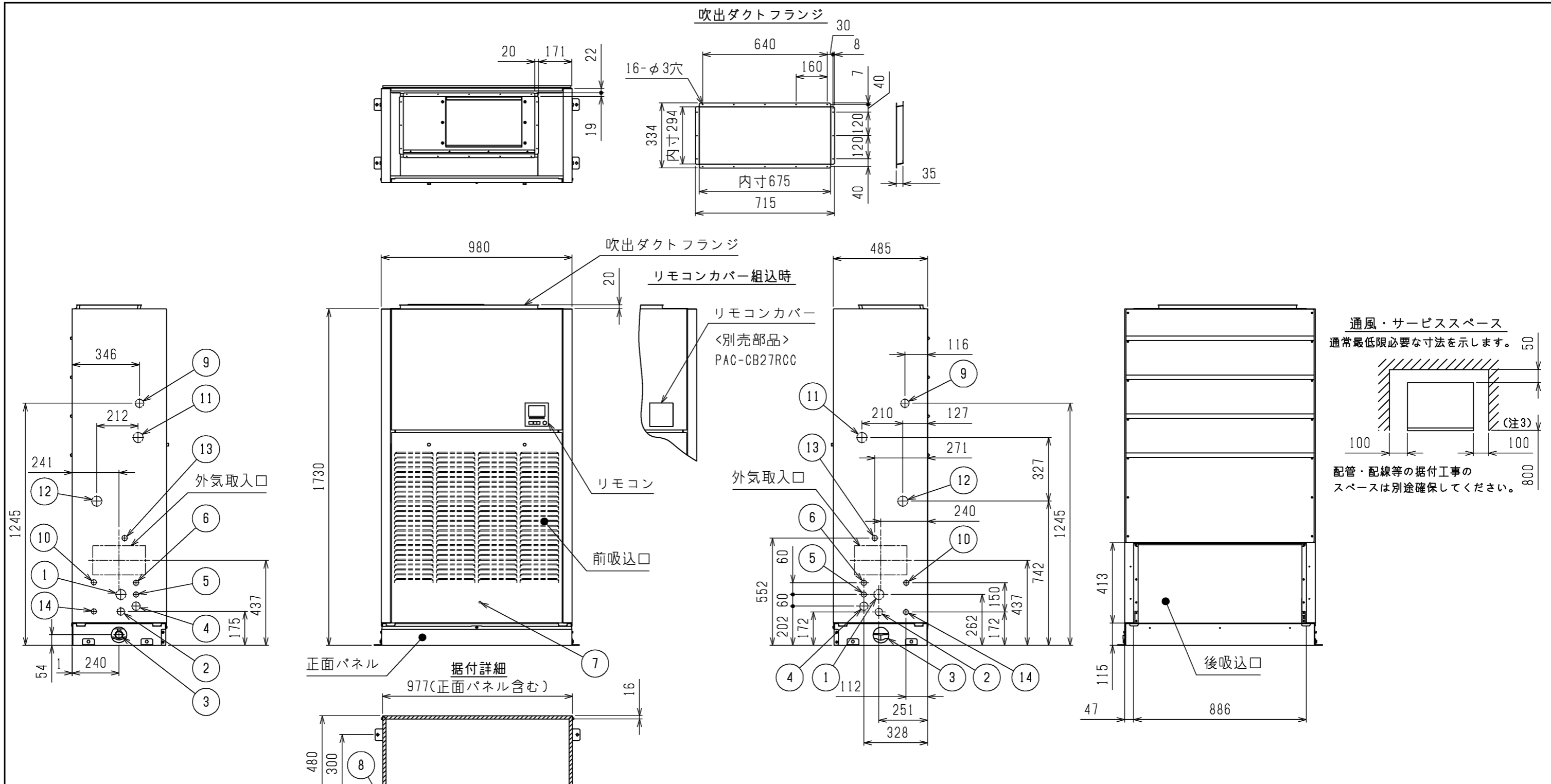


| | | | | | |
|---|---------------|----|---------------|----|---------------------------|
| 設備用パッケージエアコン仕様書 <ファシリアDDシリーズ> グリーン購入法適合(APF基準) 2015年度省エネ基準値クリア | | | | 台数 | 記号 |
| セット形名 | PFHV-P224DMJ3 | 室内 | PFHV-P224DMJ3 | 室外 | PUHV-P224DMJ3 (-BS, -BSG) |

| | | | |
|--------|--------|-------------|---------------|
| 御使用先 | 殿 | 法定冷凍トン/台 | 3.21 |
| 弊社工事番号 | | 製品質量(概算) kg | 室内 136 室外 169 |
| 始動方式 | インバーター | | |

| 電 源 | | V/Hz | 三相 200V/60Hz | | |
|--|--|--|-------------------------------------|----------------------|----------------|
| | | | 冷 房 | 暖 房 | 暖房低温 |
| A P F (2006) | | - | 5.0 | | |
| 能 力 | | kW | 20.0(22.4) ()は最大 | 22.4(25.0) ()は最大 | 20.0 |
| 消 費 電 力 | | kW | 5.60 | 6.27 | 7.19 |
| 運 転 電 流 | | A | 17.9 | 20.1 | - |
| 運 転 力 率 | | % | 90 | 90 | - |
| 室 内 | 風 量 | m ³ /min | 65 | | |
| | 機 外 静 圧 | Pa | 30 | | |
| | 電 動 機 出 力 | kW | 1.2 | | |
| | 消 費 電 力 | kW | 0.510 | 0.510 | - |
| | 運 転 電 流 | A | 1.7 | 1.7 | - |
| | 始 動 電 流 | A | - | | |
| | 吸 込 空 気 | 乾球温度 | °C | 27.0 | 20.0 |
| | 湿球温度 | °C | 19.0 | - | - |
| 室 外 | 運 転 音 PWL | dB | 68 | 68 | - |
| | 風 量 | m ³ /min | 165 | | |
| | 電 動 機 出 力 | kW | 0.35 (送風機) | | |
| | 消 費 電 力 | kW | 5.09 | 5.76 | - |
| | 運 転 電 流 | A | 16.2 | 18.4 | - |
| | 始 動 電 流 | A | 15 | | |
| | 吸 込 空 気 | 乾球温度 | °C | 35.0 | 7.0 |
| | 湿球温度 | °C | - | 6.0 | 1.0 |
| | 運 転 音 PWL | dB | 76.5 | 76.5 | - |
| 圧縮機用電動機定格出力 | | kW | 4.63 (室外) | 吸込口形式 / 方向 | |
| 冷 媒 / 冷 凍 機 油 | | | R410A/エステル油 | 吹出口形式 / 方向 | |
| 圧力開閉器 (高低圧) | 高圧カット | MPa | 4.15 | 冷媒配管接続方向 | 室内 |
| | 低圧カット | MPa | - | | 室外 |
| リモコン | 調節範囲 | °C | <冷房> 14~30 | 電源・伝送線接続方向 | 室内 |
| | | | <暖房> 14~30 | | 室外 |
| クランクケースヒーター | | W | - | ドレン配管接続方向 | |
| エアフィルター(ろ材) | | PPハニカム織 | | | |
| 塗 装 色 | 室内ユニット | マンセル 5Y 8/1 <近似色> | 室外ユニット | マンセル 5Y 8/1 <近似色> | |
| 共 通 事 項 | 冷媒配管長 | | 室外ユニット~室内ユニット間実長 165m以下 | | |
| | 高低差 | 外機~内機 | 室外ユニット上の場合 50m以下 / 室外ユニット下の場合 40m以下 | | |
| | 延長配管径(液/ガス) | | φ9.52/φ19.05 | | |
| | 使用温度範囲 | 室内ユニット吸込 | <冷房> 湿球温度 10~25°C <暖房> 乾球温度 14~30°C | | |
| 室外ユニット吸込 | | <冷房> 乾球温度 -15~43°C (送風機運転中の送風機吹出し部は除く) <暖房> 湿球温度 -20~15.5°C (送風機運転中の送風機吹出し部は除く) | | | |
| 特 記 事 項 | | | | | |
| 注 意 事 項 | 注1. 冷房・暖房能力および運転特性は、JISB8616:2015およびJRA4002:2016の吸込空気条件で運転した場合の値です。 | | | | |
| | 注2. 騒音値はJRA4065:2013に基づいた値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響などの影響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。 | | | | |
| | 注3. 組み込む別売部品の種類によっては電気特性、風量、機外静圧、騒音値等が変化する場合があります。詳細は設計工事マニュアルをご覧ください。 | | | | |
| | 注4. 室内ユニット周囲空気が露点温度23°C以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。 | | | | |
| | 注5. 冷房時、室外ユニット吸込温度が-15~-5°Cでご使用の場合、安定した運転のために防雪フード(吹出ダクト・吸込ダクト)を取付けてください。また、ユニット周囲を防雪ネットや防雪柵で囲うなどの対策を行ってください。 | | | | |
| | 注6. 本製品を長く安心してお使いいただくためには定期的な保守・点検が必要です。各部品の点検・保全周期については日本冷凍空調工業会発行のガイドラインを参考にしてください。 | | | | |
| | 注7. データモニタリング機能は、2リモコンでご使用の場合「主-従」設定で「主」に設定したリモコンのみご使用できます。 | | | | |
| | 注8. 外気を取り入れて使用するときは、必要に応じてリモコンセンサーまたは別売部品の温度センサー(PAC-SE40TS-W)へ変更して下さい。 | | | | |
| | 注9. 外気を取り入れて使用するときは、取り入れ外気温度は10°C以上、外気取り入れ量は、全体風量の10%以下となるようにして下さい。 | | | | |
| | 注10. 蒸気ヒーターを再熱ヒーターとして使用する場合は、凝縮水滞留防止ポンプ(トラップ)を必ず併用してください。なお、ポンプを設置する配管システムは専門メーカーに問合せ願います。凝縮水滞留防止ポンプ(トラップ)を設置しない場合には、ストール現象の発生によりスチームハンマー、凍結、腐食によるヒーター破損の可能性があります。 | | | | |
| 注11. APF(2006)は、JIS B 8616:2006およびJRA 4048:2006に準拠した値です。 | | | | | |
| 注12. 除湿運転設定を有効(機能設定No. 163 設定値3)にしている場合はパルス発停は使用できません。 | | | | | |
| 注13. 除湿運転設定を有効(機能設定No. 163 設定値3)にしている場合は室内機からの4段階デマンドは使用できません。環境用計測コントローラー(PAC-YG63MC1)を用いて4~20mAアナログ入力によるデマンドを使用するか、室外機からの4段階デマンドを使用してください。 | | | | | |
| 注14. 電気ヒーター(再熱用)または蒸気・温水ヒーター(再熱用)を年間冷房設定無効(SW1-8-OFF)で使用する場合は、暖房運転時に作動しないようにM制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)の出力信号の2:異常、4:冷房と連動するように計装してください。 | | | | | |
| 標 準 外 仕 様 | | | | | |
| 添付図面 | 外形図(室内) | KQ94C1RD | 電気配線図(室内) | KP94C28T | 機外配線図 KP94C1QF |
| | 外形図(室外) | KB94C88A | 電気配線図(室外) | KE94L427 | |

| | | | | | |
|---|----|---------|-------|--------------|------|
| *除外工事 据付・基礎工事、給排水工事、電気接続工事、ダクト工事、防熱工事、電源開閉器、温調・湿調用電磁弁、逆止弁、その他本仕様書に明示無き事項。 | | | | | |
| 三菱電機株式会社 | 日付 | 24-1-18 | 仕様書番号 | WYNC3-4835-6 | 副番 A |

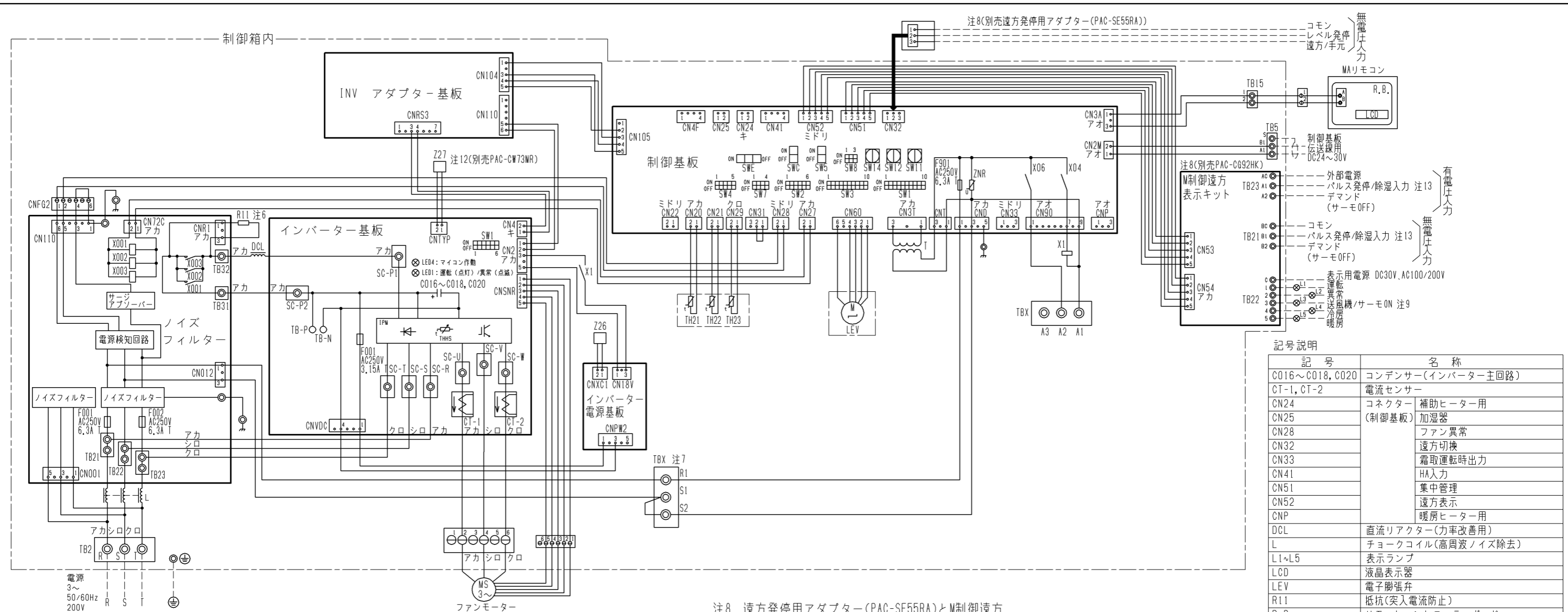


| NO. | 名称 | NO. | 名称 |
|-----|----------------------------|-----|--|
| 1 | 冷媒配管<ガス>・・・φ19.05ろう付 | 8 | 基礎ボルト穴・・・4-φ12 |
| 2 | 冷媒配管<液>・・・φ9.52ろう付 | 9 | 遠方操作キット配線穴・・・φ43ノックアウト穴 |
| 3 | ドレン穴・・・Rp1 | 10 | 加湿器配管穴・・・φ27ノックアウト穴(ペーパーバン:R $\frac{1}{2}$, 蒸気スプレー:Rc $\frac{1}{2}$) |
| 4 | 装置電源穴・・・φ43ノックアウト穴 | 11 | 蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気入口・温水出口)・・・φ52ノックアウト穴(接続サイズ:R1 $\frac{1}{4}$) |
| 5 | 電線穴・・・φ27ノックアウト穴 | 12 | 蒸気・温水ヒーター配管穴(蒸気出口・温水入口)・・・φ52ノックアウト穴(接続サイズ:R1 $\frac{1}{4}$) |
| 6 | 室内外連絡線穴, 伝送線穴・・・φ27ノックアウト穴 | 13 | 加湿器配管穴・・・φ27ノックアウト穴(水スプレー:R $\frac{1}{2}$) |
| 7 | アース端子(制御箱内に設置)・・・M5ねじ | 14 | 加湿器配線穴・・・φ27ノックアウト穴(ペーパーバン, 水スプレー, 蒸気スプレー) |

- 注1. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
 2. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。
 3. 熱交換器の交換など重サービス時にはユニットの移動が必要となります。ユニットの移動ができない場合は両側面に500mmのスペースを確保して施工してください。
 4. 標準仕様のドレン穴は左取出しとなっています。ドレンパンの向きを変更して右取出しにすることができます。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
 THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | | | |
|--|------------------------------|-------------------------------|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS R 度 SCALE DO NOT SCALE | 作成日付 ISSUED 2024-01-09 | 改定日付 REVISED 2024-02-19 | TITLE 床置ダクト形室内ユニット外形図 PFAV-P224DMJ3 |
| | 三菱電機株式会社 | | DWG.NO. W KP94C1RD |
| | | | REV. A PAGE 1/1 |



- 注1. 図中破線部分は現地工事区分を示します。
 注2. 一点鎖線は制御箱境界を示します。
 注3. ◎印は端子台、⊖印は中継コネクタ、⊕印は基板差込みコネクタを示します。
 注4. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 注5. 電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
 注6. ファストン端子はロック機構付き端子です。取り外す際は端子中央のつまみを押しながら取り外してください。取付後は確実にロックがかかっていることを確認してください。
 注7. 緊急停止入力は、端子台TBX(S1-S2間)の短絡線を外して、そこに緊急停止スイッチなどを配線接続してください。

●仕様(M制御遠方表示キット)

| 項目 | 内容 |
|------------------|---|
| 電源 | 室内基板から受電 |
| 据付場所 | 本体制御箱内 |
| 適合入出力伝送線サイズ(信号線) | CV, CVSまたはこれらに相当するもの 単線: φ0.65mm~φ1.2mm 撚線: 0.5mm ² ~1.25mm ² |
| 信号線配線距離 | 外部出力: MAX100m 外部入力: MAX100m |
| 室内ユニット接続線接続形態 | 10心(5心+5心)5m 室内基板毎 |

●入力仕様(M制御遠方表示キット、遠方発停用アダプター)

| 機能 | 使用用途 | 信号仕様 |
|---------------------|---------------------------|--|
| パルス発停(注8)(注11)(注13) | ON/OFF指令を出すことができます。 | ハルス(有電圧/無電圧a接点) (有電圧の場合) 電源: DC12V~24V 電流: 約10mA(DC12V時) 200ms以上 200ms以上 (ハルス通電時間) (ハルス間隔) |
| 除湿(注11)(注13) | 圧縮機回転数をアップします。 | レベル(有電圧/無電圧a接点) (有電圧の場合) 電源: DC12V~24V 電流: 約10mA(DC12V時) (無電圧の場合) 接点 閉: 除湿 ON 接点 開: 除湿 OFF |
| レベル発停(注8)(注11) | ON/OFF指令を出すことができます。 | 遠方/手元 ON OFF リモコン 運転/停止はできません 運転操作ができます |
| デマンド(注11) | デマンド指令(サーモOFF)を出すことができます。 | レベル(有電圧/無電圧a接点) (有電圧の場合) 電源: DC12V~24V 電流: 約10mA(DC12V時) |

●出力仕様(M制御遠方表示キット)

| 機能 | 使用用途 | 信号仕様 |
|---------------|--------------------------|---|
| 運転 | 外部へ運転信号が取り出せます。 | |
| 異常 | 外部へ異常信号が取り出せます。 | リレーa接点出力 DC30Vまたは AC100V/200V 接点定格電流: 1A 接点最小負荷: 10mA |
| 送風機・サーモON(注9) | 外部へ送風機運転・サーモON信号が取り出せます。 | |
| 冷房 | 外部へ冷房信号が取り出せます。 | |
| 暖房 | 外部へ暖房信号が取り出せます。 | |

- 注8. 遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)とM制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)は別売部品です。
 ・パルス発停用スイッチ: M制御遠方表示キットに接続してください。
 ・レベル発停用スイッチ: 遠方発停用アダプターに接続してください。

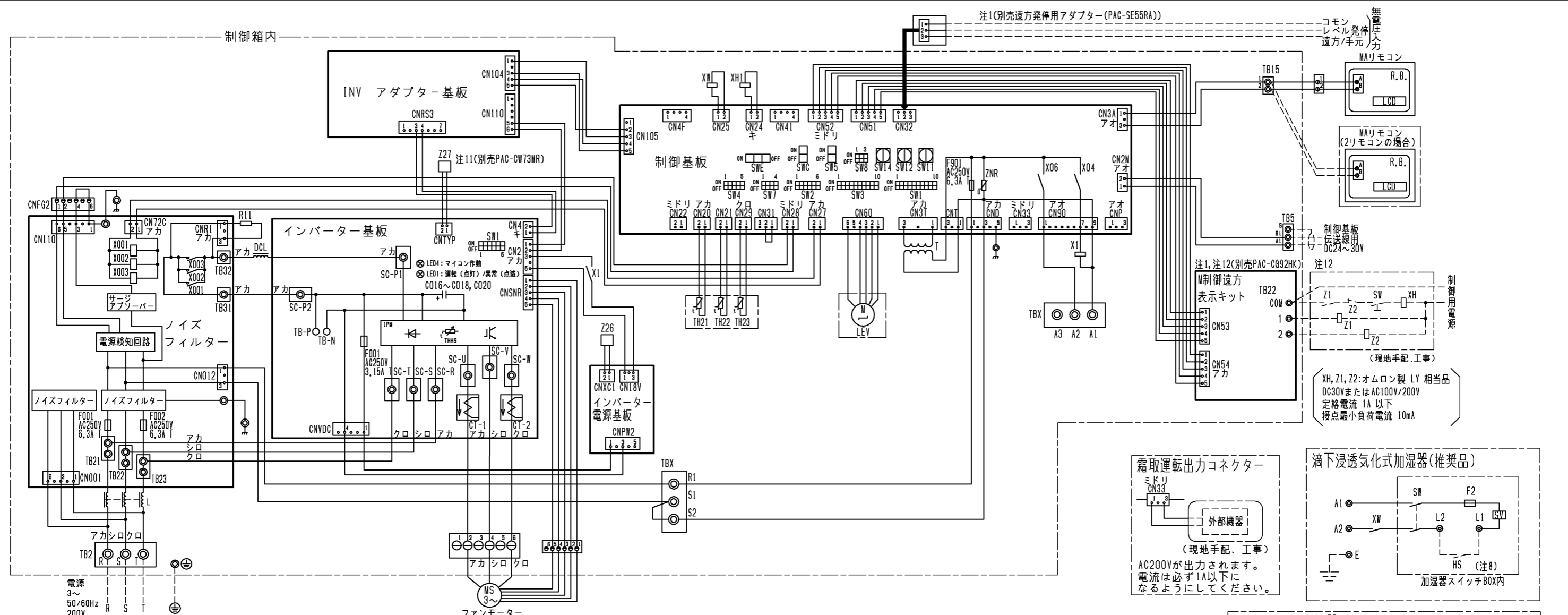
- 注9. 制御基板のSW1-5を使用用途に応じて設定してください。
 送風機状態出力: SW1-5 OFF(工場出荷時設定)
 サーモON状態出力: SW1-5 ON
 注10. ルームサーモ仕様にてご使用の場合は、製品内蔵のTH21は機能致しません。
 別売温度センサー(PAC-SE40TS-W)を接続、または現地回路接続してください。
 注11. 各入力の接点は微小電流用(DC12V 1mA以下)を使用してください。
 注12. 高静圧モーターを使用する場合は、インバーター基板のCNTYPにモーター識別抵抗を接続してください。また、室内基板のSW3-2をOFF→ONにしてください。
 モーター識別抵抗は、別売部品に付属しています。
 注13. 除湿運転設定を有効(機能設定No.163 設定値3)にすることで除湿入力となります。
 この場合、パルス発停は使用できません。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
 THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE |
|--------------------------|-----------------|-------------------------------------|
| 2024-07-09 | | 床置きダクト形室内ユニット電気配線図 PFAV-P224DMJ3 |
| 尺度 SCALE DO NOT SCALE | 三菱電機株式会社 | DWG.NO. W KP94C28T |
| | REV. * | PAGE 1/1 |

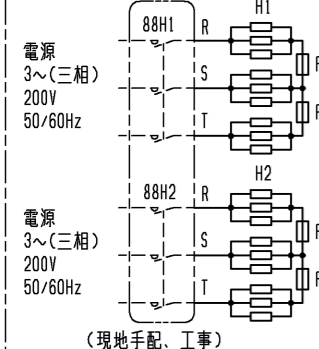
記号説明

| 記号 | 名称 |
|-----------------|-----------------------|
| C016~C018, C020 | コンデンサー(インバーター主回路) |
| CT-1, CT-2 | 電流センサー |
| CN24 | コネクタ 補助ヒーター用 |
| CN25 | (制御基板) 加湿器 |
| CN28 | ファン異常 |
| CN32 | 遠方切換 |
| CN33 | 霜取運転時出力 |
| CN41 | HA入力 |
| CN51 | 集中管理 |
| CN52 | 遠方表示 |
| CNP | 暖房ヒーター用 |
| DCL | 直流リアクター(力率改善用) |
| L | チョークコイル(高周波ノイズ除去) |
| L1~L5 | 表示ランプ |
| LCD | 液晶表示器 |
| LEV | 電子膨張弁 |
| R11 | 抵抗(突入電流防止) |
| R, B. | リモートコントローラーボード |
| SW1 | スイッチ 機能切換 |
| SW2 | (制御基板) 能力設定 |
| SW3 | 機能切換 |
| SW4 | 機種設定 |
| SW5 | 機能切換 |
| SW7 | 機能切換 |
| SW8 | 能力設定 |
| SW11 | アドレス設定用 1の位 |
| SW12 | アドレス設定用 10の位 |
| SW14 | 分岐口No.ペアNo.用 |
| SWC | 機能切換 |
| SWE | ファン試運転用 |
| T | 電源トランス |
| TB2 | 電源端子台 |
| TB5 | 伝送端子台 |
| TB15 | MAリモコン用端子台 |
| TB21~TB23 | 入出力用端子台(別売M制御遠方表示キット) |
| TBX(S1, S2) | 緊急停止用端子台 |
| TBX(A1, A2, A3) | 別売接続用端子台 |
| TH21 | 吸込み温度検出用サーミスター |
| TH22 | 配管温度検出用サーミスター(液) |
| TH23 | 配管温度検出用サーミスター(ガス) |
| X1 | 電磁継電器 インバーター基板用 |
| X001~X003 | インバーター主回路 |
| Z26 | 機能設定素子 |
| Z27 | モーター識別抵抗 |

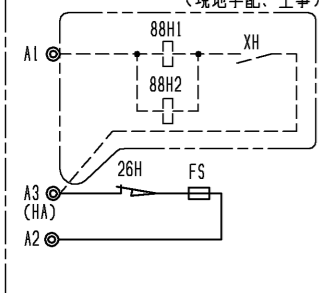


電気ヒーター (再熱用)

(88H1, 88H2: トガミ製 PAK-26J 相当品)



(現地手配、工事)



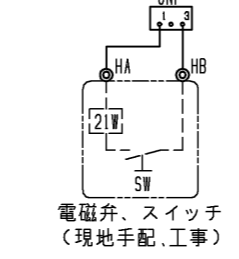
- ① 年間冷房用途で使用される場合は、室内基板のSW1-8(年間冷房設定)をONにしてください。暖房運転と併用する場合は、室内基板のSW1-8(年間冷房設定)をOFFにしてください。
- ② 機能設定No. 58, No. 71の設定変更をしてください。(注10)
- ③ 本図の配線接続の他に、M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)の手配・接続が必要です。
- ④ 機能設定No. 27を"3"にしてください。(出荷時設定は"3")
- ⑤ ペーパーパン加湿器と併用する場合、現地組込み時はユニットの端子A3を使用せず、現地で中継してください。受注組込み時は端子HAが存在します。

蒸気・温水ヒーター

暖房用ヒーターとして使う場合

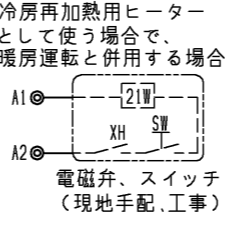
- ① 室内基板のSW7-1をOFF→ONにしてください。(注3)
- ② 本図の配線接続の他に、注3に示す別売遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)、またはM制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)の手配・接続が必要です。
- ③ 21Wは、200V 1A以下の物を使用してください。電流容量が1A以上になる場合は、ルレ受けしてください。
- ④ 端子HA, HBは受注組込み時のみ存在します。
- ⑤ 機能設定No. 25を"3"にしてください。(出荷時設定は"3")

暖房用ヒーターとして使う場合、または、冷房再加熱用ヒーターとして使う場合で、年間冷房用途で使用される場合

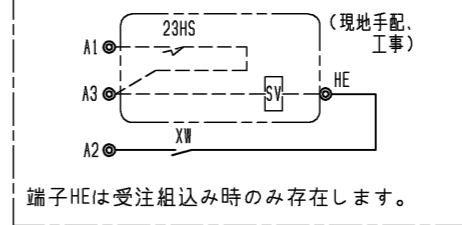


冷房再加熱用ヒーターとして使う場合

- ① 室内基板のSW7-1をOFF→ONにしてください。(注3)
- ② 21Wは、200V 1A以下の物を使用してください。電流容量が1A以上になる場合は、ルレ受けしてください。
- ③ 端子HA, HBは受注組込み時のみ存在します。
- ④ 機能設定No. 27を"3"にしてください。(出荷時設定は"3")
- ⑤ 年間冷房用途で使用される場合は、室内基板のSW1-8(年間冷房設定)をONにして、スイッチを設けてください。暖房運転と併用する場合は、室内基板のSW1-8(年間冷房設定)をOFFにしてください。この場合、CNPコネクタが使用できないため、A1-A2を使用して、M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)の出力信号の2:異常、4:冷房と連動するように計装して、スイッチを設けてください。
- ⑥ 機能設定No. 58, No. 71の設定変更をしてください。(注10)

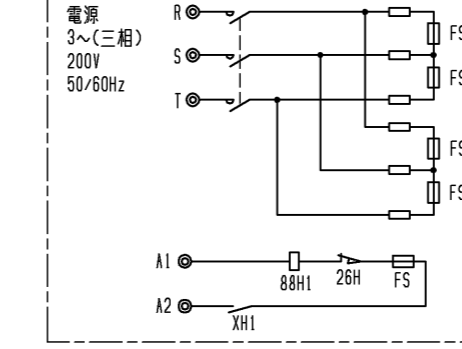


蒸気、水スプレー加湿器

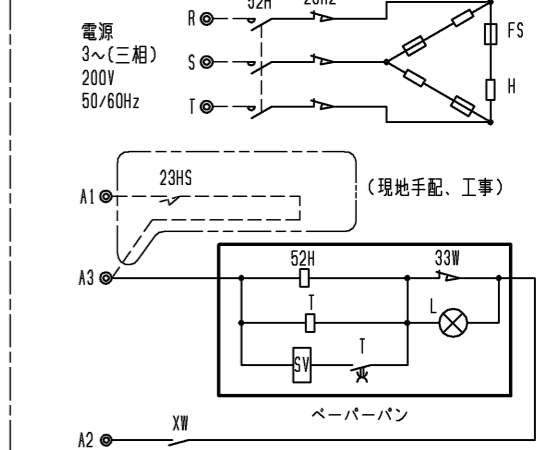


端子HEは受注組込み時のみ存在します。

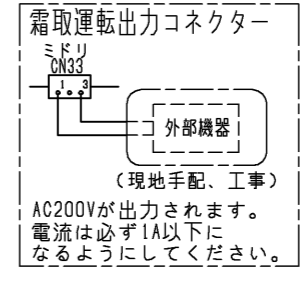
補助電気ヒーター



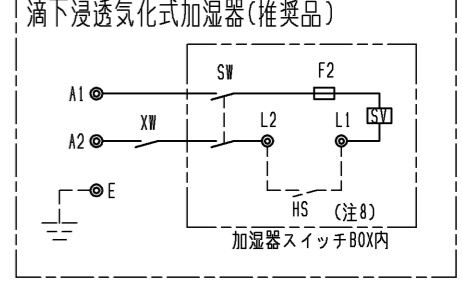
ペーパーパン加湿器



- ① 室内基板のSW3-5をOFF→ONにしてください。
- ② 冷房加湿を行う場合は、機能設定No. 99を"2"にしてください。(出荷時設定は"1")
- ③ サーモOFF時(冷房・暖房)も加湿器をONにする場合は、室内基板のSW1-6をOFF→ON、MAリモコンにて機能設定No. 25を"3"(暖房時)に機能設定No. 27を"3"(冷房時)にしてください。



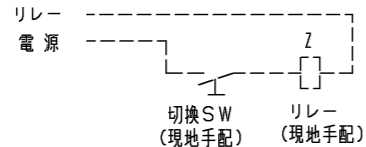
AC200Vが出力されます。電流は必ず1A以下になるようにしてください。



加湿器スイッチBOX内

| | | | |
|---|----------------|-----------------|---|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS 尺 DO NOT SCALE | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE |
| | 2024-07-16 | | 床置きダクト形室内ユニット主要部品組込電気配線図 PFAV-P224DMJ3 |
| 尺 DO NOT SCALE | 三菱電機株式会社 | | DWG.NO. W KP94C29A |
| | | | REV. * PAGE 1/2 |

- 注1. 遠方発停用アダプター、M制御遠方表示キットの接続要領は、標準電気配線図をご参照ください。
 2. 蒸気・水スプレー加湿器、ペーパーパン加湿器は23HS(湿度調節器)を使用しない場合、端子台のA1とA3を短絡してください。
 3. 蒸気・温水ヒーターは、ヒートポンプ暖房または蒸気・温水による暖房の切換運転になります。
 ※ヒートポンプ暖房と蒸気・温水暖房を同時に運転することはできません。
 下記要領に従って、SW設定、配線接続してください。
 1)SW7-1をONに設定してください。
 2)下図のように切換SW、リレーを設けてください。(現地手配)

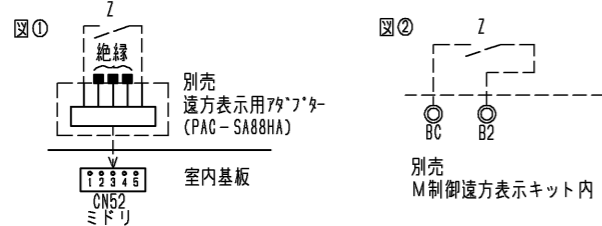


● 切換SW(現地手配)

- ONで蒸気・温水暖房(圧縮機は運転しません)
- OFFでヒートポンプ暖房(電磁弁(現地手配)は動作しません)
- ※接点が微小電流用(DC12V 1mA相当)の場合、下記リレー(現地手配)は不要です。直接基板へ接続してください。

● リレー(現地手配)

- 微小電流対応(DC12V 1mA相当)のものを使用してください。
 ① 別売遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)を使用する場合
 下図①のように遠方表示用アダプターに配線接続してください。
 ② 別売M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)を使用する場合
 下図②のように遠方表示キット内のBC-B2間に配線接続してください。



- ※ヒートポンプ暖房/蒸気・温水暖房の切換入力と、室内ユニットから出力信号(運転、異常、冷房、暖房、送風)を併用する場合は、図②に示すように、別売M制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)をご使用ください。
 この場合、遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)を用いた図①の接続は不要です。

- 3)冷房運転時は上記切換SW(現地手配)を必ずOFFにしてください。
 ONの状態では圧縮機が運転しません。
 4. 本図は主要部品組込時の配線図を示します。
 標準のみの電気配線接続は、標準の電気配線図を参照してください。
 5. 本ユニットは受注要求仕様により、本図に示す電気回路(該当部分のみ)を組込んでいます。
 6. 室内温度制御にて空調を行う際は温度センサー(PAC-SE40TS-W)を使用し、TH21は取外してください。
 7. 電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
 8. ヒューミディスタットをご使用の際は、端子台L1、L2の短絡線を外してヒューミディスタットを接続してください。
 9. 滴下浸透気化式加湿器組込時は、蒸気・温水ヒーター、電気ヒーター(再熱用)、補助電気ヒーターとの併設はできません。
 10. 電気ヒーター(再熱用)または、蒸気・温水ヒーター(再熱用)を組込みの場合、ヒーターの余熱排除のため、MAリモコンにて機能設定No.58を"3"、機能設定No.71を"2"にしてください。
 11. 高静圧モーターを使用する場合は、インバーター基板のCNTYPにモーター識別抵抗を接続してください。
 また、室内基板のSW3-2をOFF→ONにしてください。
 モーター識別抵抗は、別売部品に付属しています。
 12. 電気ヒーター(再熱用)または蒸気・温水ヒーター(再熱用)を年間冷房設定無効(SW1-8=OFF)で使用する場合は、暖房運転時に作動しないようにM制御遠方表示キット(PAC-CG92HK)の出力信号の2:異常、4:冷房と連動するように計装してください。
 現地手配・工務部については、現地責任でお願いします。
 13. 除湿運転設定を有効(機能設定No.163 設定値3)にしている場合でも、圧縮機回転数が最大の場合や室内・室外ユニット保護制御作動時は圧縮機回転数はアップしません。
 14. 除湿運転設定を有効(機能設定No.163 設定値3)にしている場合は、遠方操作キット(PAC-CG93SK)は接続できません。
 15. 除湿運転設定を有効(機能設定No.163 設定値3)にしている場合は、年間冷房設定を無効(SW1-8=OFF)としてください。

記号説明

| 記号 | 名称 |
|-----------------|-----------------------|
| C016~C018, C020 | コンデンサー(インバーター主回路) |
| CT-1, CT-2 | 電流センサー |
| CN24 | コネクター |
| CN25 | (制御基板) 補助ヒーター用加湿器 |
| CN28 | ファン異常 |
| CN32 | 遠方切換 |
| CN33 | 霜取運転時出力 |
| CN41 | HA入力 |
| CN51 | 集中管理 |
| CN52 | 遠方表示 |
| CNP | 暖房ヒーター用 |
| DCL | 直流リアクター(力率改善用) |
| L | チョークコイル(高周波ノイズ除去) |
| LCD | 液晶表示器 |
| LEV | 電子膨張弁 |
| R11 | 抵抗(突入電流防止) |
| R.B. | リモートコントローラーボード |
| SW1 | スイッチ |
| SW2 | (制御基板) 機能切換 |
| SW3 | 機能切換 |
| SW4 | 機能設定 |
| SW5 | 機能切換 |
| SW7 | 機能切換 |
| SW8 | 機能設定 |
| SW11 | アドレス設定用 1の位 |
| SW12 | アドレス設定用 10の位 |
| SW14 | 分岐口No.ペアNo.用 |
| SWC | 機能切換 |
| SWE | ファン試運転用 |
| T | 電源トランス |
| TB2 | 電源端子台 |
| TB5 | 伝送端子台 |
| TBXS1, S2) | 緊急停止用端子台 |
| TBXA1, A2, A3) | 別売接続用端子台 |
| TB15 | MAリモコン用端子台 |
| TB21~TB23 | 入出力用端子台(別売M制御遠方表示キット) |
| TH21 | 吸込み温度検出用サーミスター |
| TH22 | 配管温度検出用サーミスター(液) |
| TH23 | 配管温度検出用サーミスター(ガス) |
| X1 | 電磁継電器 |
| X001~X003 | インバーター基板用 |
| Z26 | インバーター主回路 |
| Z26 | 機能設定素子 |

追加部品記号説明

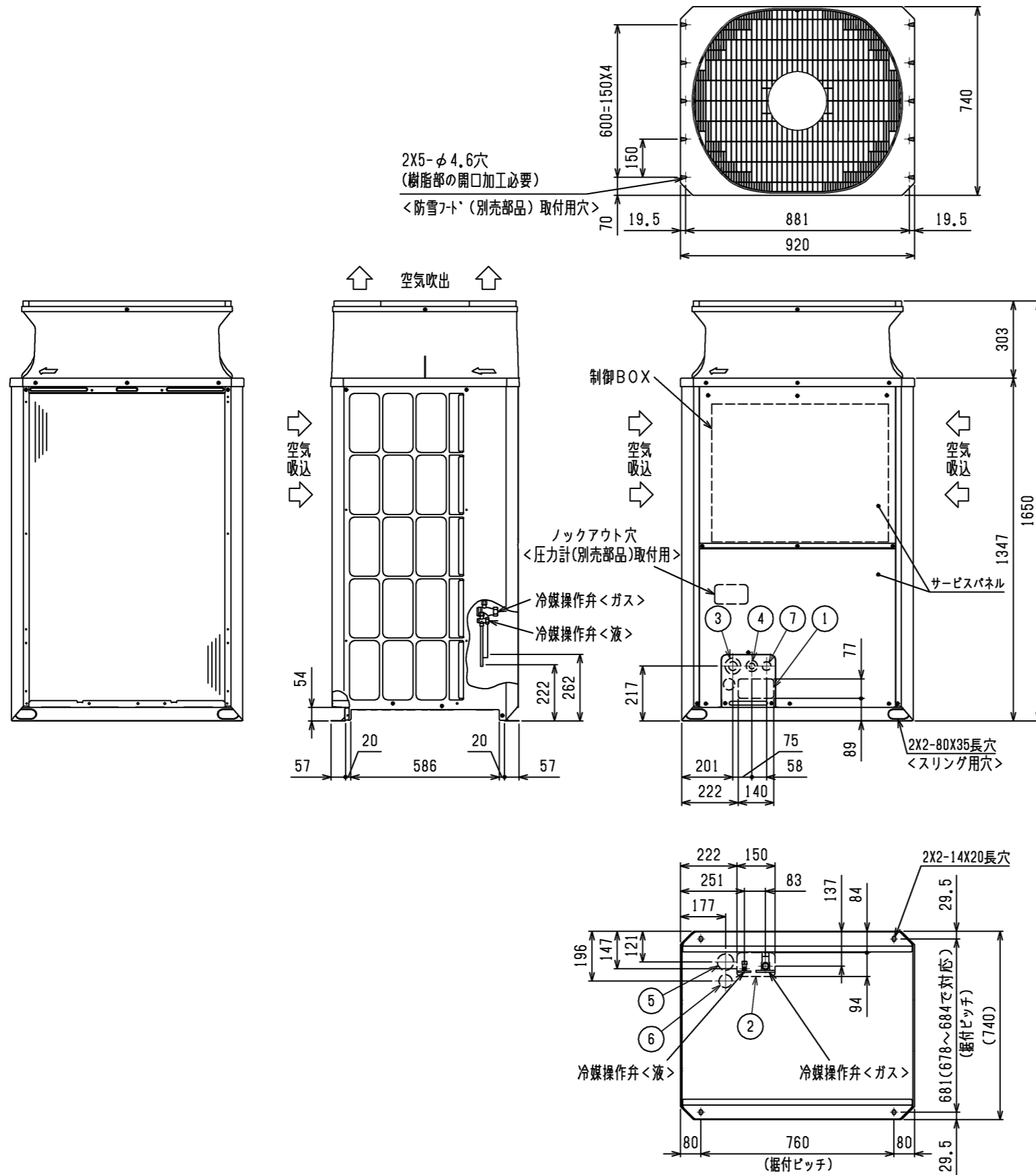
| 追加部品記号 | 記号 | 名称 | 備考 |
|-------------|------------|-------------|-------|
| 蒸気・温水ヒーター | 21W | 電磁弁 | 現地手配 |
| | SW | スイッチ | 現地手配 |
| 補助電気ヒーター | 88H1 | 電磁接触器 | 別売付属 |
| | FS | 温度ヒューズ | 別売付属 |
| | H | ヒーター | 別売付属 |
| | 26H | 過昇防止サーモ | 別売付属 |
| | XH1 | 補助継電器 | 別売付属 |
| 滴下浸透気化式加湿器 | HS | ヒューミディスタット | 現地手配 |
| | SV | 電磁弁 | 加湿器付属 |
| | XW | 補助継電器 | 加湿器付属 |
| | F2 | ヒューズ<0.5A> | 加湿器付属 |
| | SW | スイッチ | 加湿器付属 |
| ペーパーパン加湿器 | 52H | 電磁接触器 | 別売付属 |
| | 26H2 | サーマルカットアウト | 別売付属 |
| | FS | 温度ヒューズ | 別売付属 |
| | H | シーズヒーター | 別売付属 |
| | 23HS | 湿度調節器 | 現地手配 |
| | T | タイマー | 別売付属 |
| | SV | 電磁弁 | 別売付属 |
| | L | 断水ランプ | 別売付属 |
| | 33W | 断水スイッチ | 別売付属 |
| | XW | 補助継電器 | 別売付属 |
| 電気ヒーター(再熱用) | 88H1, 88H2 | 電磁接触器 | 現地手配 |
| | H1, H2 | ヒーター | 別売付属 |
| | FS | 温度ヒューズ | 別売付属 |
| | 26H | 過昇防止サーモ | 別売付属 |
| | XH, Z1, Z2 | 補助継電器 | 現地手配 |
| | SW | ヒーター用スイッチ | 現地手配 |
| 蒸気スプレー加湿器 | 23HS | 湿度調節器 | 現地手配 |
| | SV | 電磁弁 | 現地手配 |
| | XW | 補助継電器 | 別売付属 |
| 水スプレー加湿器 | 23HS | 湿度調節器 | 現地手配 |
| | SV | 電磁弁 | 現地手配 |
| | XW | 補助継電器 | 別売付属 |
| MAリモコン | | 製品本体記号説明 参照 | |
| 高静圧用モーター | Z27 | モーター識別抵抗 | 別売付属 |

(室内機と別電源仕様)電気設備容量

| | 電線太さ | 漏電遮断器 | 手元開閉器 | | 配線用遮断器 | 最大こう長 ※2 |
|---------------|--------------------|-------|-------|--------------------|--------|-------------|
| | | | 開閉器容量 | 過電流保護器 (B種ヒューズ) | | |
| 電気ヒーター(再熱用)※3 | 8mm ² | 40A※1 | 60A | 40A | 40A | 30m |
| ペーパーパン加湿器 | 2.0mm ² | 20A※1 | 15A | 15A | 20A | 18m |

- ※1 漏電遮断器は感度30mA, 0.1s以下を使用してください。
 ※2 電源配線のこう長は電源から別売部品までの電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
 ※3 1回路あたりの電気設備容量を示します。同一のヒーター回路が2回路あるため、各回路に施設してください。

| | | | | | |
|---|----------------|-----------------|--|-----------|-------------|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE 床置きダクト形室内ユニット主要部品組込電気配線図 PFAV-P224DMJ3 | | |
| | 2024-07-16 | | DWG.NO. W KP94C29A | REV. * | PAGE 2/2 |
| R 度 SCALE DO NOT SCALE | 三菱電機株式会社 | | | | |



- 注1. ユニット周囲の必要空間と基礎施工時の注意事項は、(2/2)を参照してください。
2. ろう付け時は、操作弁本体へ濡れタオル等を巻き、本体温度が120℃以上にならない様にしてください。
3. 背面用網は、別売部品でご用意しています。
4. 別売部品取り付けの際には、取り付け後の外形寸法に応じたユニット間隔としてください。

接続管仕様

| 形名 | 冷媒配管径 | | 操作弁口径 | |
|-----------|-------------|--------------|-------|-------|
| | 液側 | ガス側 | 液側 | ガス側 |
| P224DMJ3形 | φ9.52ろう付 ※1 | φ19.05ろう付 ※2 | φ9.52 | φ25.4 |

- ※1...現地配管を拡管して直接操作弁にろう付してください。
- ※2...管継手(現地手配)又は弊社サービス部品を使用し、現地配管を操作弁へろう付してください。

| NO. | 用途 | 仕様 |
|-----|-------|-------------------------|
| ① | 配管用 | 前面通し穴 140x77ノックアウト穴 |
| ② | | 底面通し穴 150x94ノックアウト穴 |
| ③ | 電源配線用 | 前面通し穴 φ65もしくはφ40ノックアウト穴 |
| ④ | | 前面通し穴 φ52もしくはφ27ノックアウト穴 |
| ⑤ | | 底面通し穴 φ65ノックアウト穴 |
| ⑥ | | 底面通し穴 φ52ノックアウト穴 |
| ⑦ | 伝送用配線 | 前面通し穴 φ34ノックアウト穴 |

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | | | | | | | |
|---|----------------|-----------------|----------|--|-----------------------|-----------|-------------|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS 尺度 SCALE DO NOT SCALE | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE | PUHV-P224DMJ3(-BS,-BSG) 設備用インバータエアコン 室外ユニット外形図 | DWG.NO. W KB94C88A | REV. * | PAGE 1/2 |
| | 2024-01-09 | | 三菱電機株式会社 | | | | |

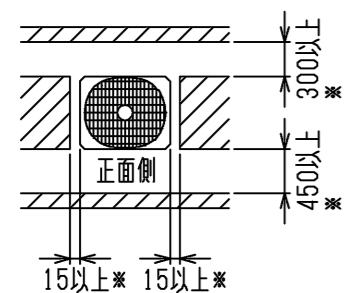
1. ユニット周囲の必要空間

● 単独設置の場合

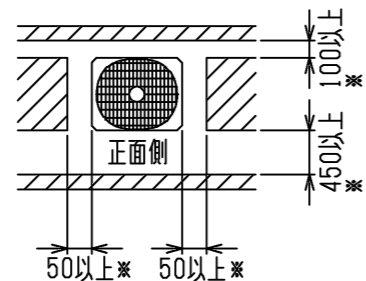
①ユニットは、下図に示す必要空間をとって設置してください。

○後面側、壁面まで300mm以上の場合

○後面側、壁面まで100mm以上の場合



<上面から見る>



<上面から見る>

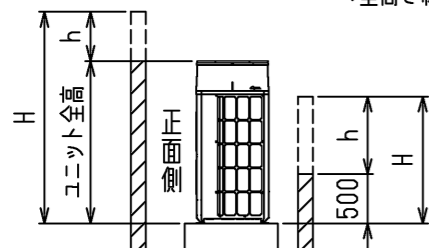
<単位:mm>

②前後、側面の壁高さ<H>が、下記<壁高さ制約>を超える場合

<壁高さ制約>を超えた分の1/2の寸法<h/2>を図中にある

*印の寸法に加算してください。

<壁高さ制約> 正面：ユニットの全高以下
 後面：ユニット底面から500mm以下
 側面：ユニットの全高以下



<側面から見る>

● 集中設置・連続設置の場合

①多数のユニットを設置する場合は、人の通路、風の流通を考慮して、

各ブロック間に下図スペースをとってください。

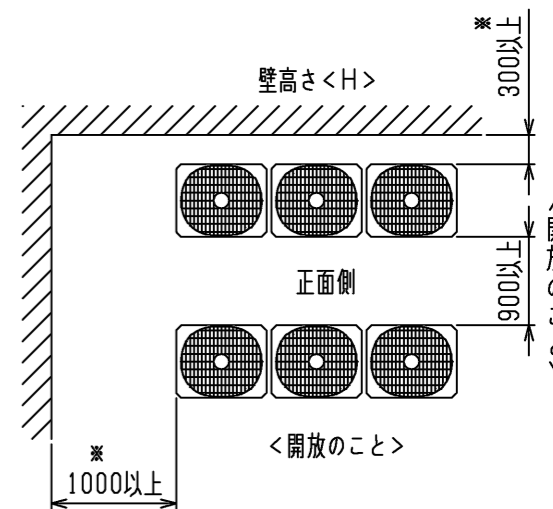
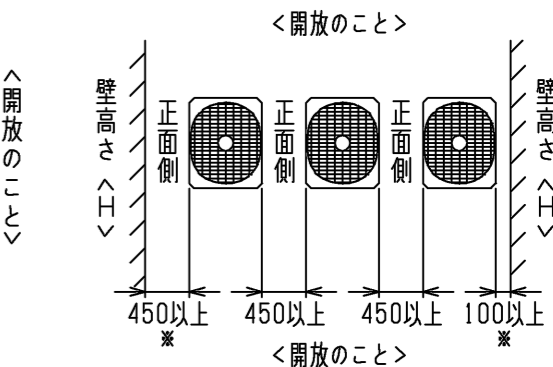
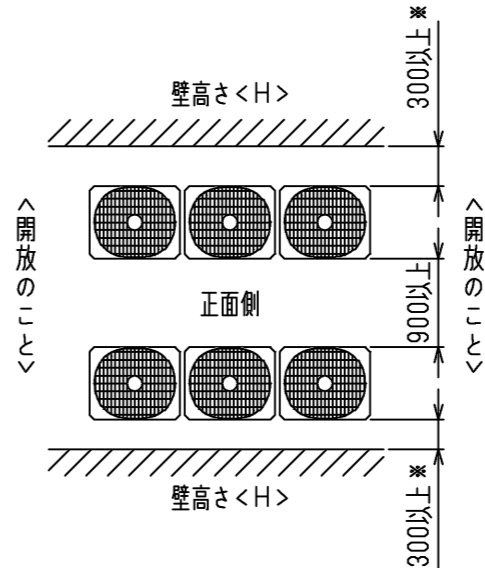
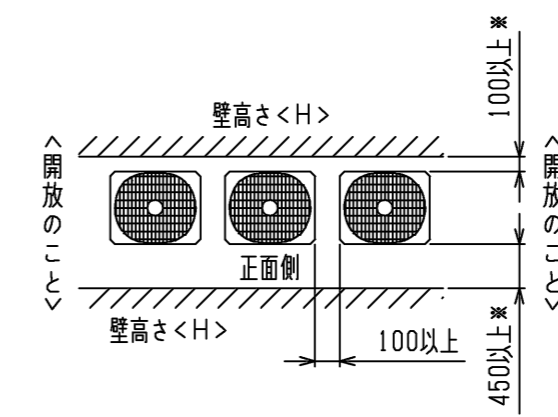
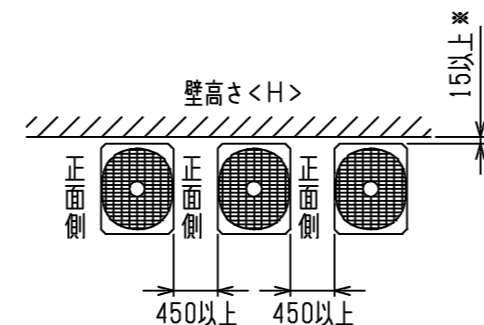
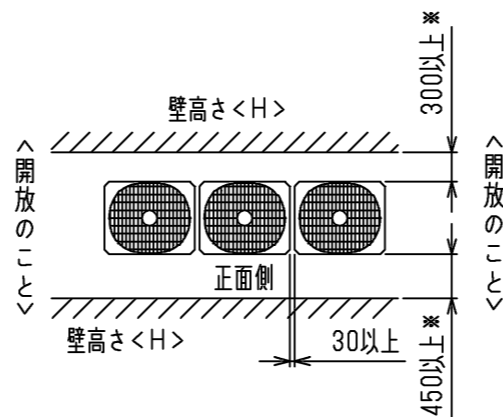
②2方向は開放としてください。

③壁高さ<H>が<壁高さ制限>を超える場合は、単独設置の場合と同様に

<壁高さ制限>を超えた分の1/2の寸法<h/2>を*印の寸法に加算してください。

④ユニット前後に壁がある場合の側面方向への連続設置は最大6台として、

6台毎に吸込スペース兼通路スペースとして1000mm以上とってください。



<単位:mm>

2. 基礎施工

①基礎施工に際しては床面強度、ドレン水処理、配管、配線の経路に十分留意してください。

<運転時にはドレン水がユニット外に流出しますので、集中排水する場合は、別売の集中ドレンパンを使用してください。>

②ユニット取付部の下図コーナーを確実に受けるように基礎を施工してください。

防振ゴムを使用する場合には、幅方向を防振ゴム全面で受けるように施工してください。

③アンカーボルトの飛び出しは30mm以下となるようにしてください。

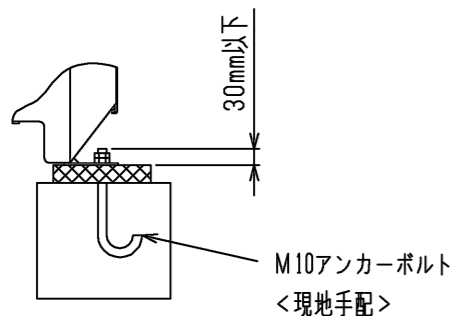
④後打ち式アンカーボルトを使用する場合は、下図のような固定金具（現地手配）を取り付けてください。（4箇所）

⑤小動物・雪・雨水などが配管・配線取出し部から侵入すると、機器を損傷するおそれがありますので、

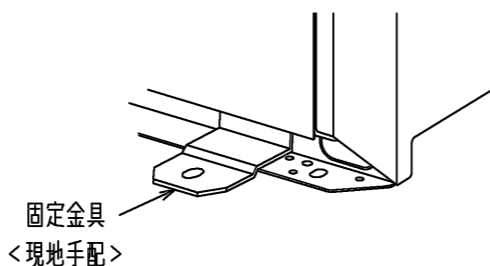
開口部は閉鎖材等（現地手配）で必ず塞いでください。

⑥底面配管または底面配線を行う場合は、ベースの貫通穴を塞がないように基礎や架台の施工には注意してください。

⑦架台等に取り付ける場合、設計工事マニュアルを参照ください。



M10アンカーボルト
<現地手配>



固定金具
<現地手配>

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
 THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | | | | | | | |
|--|----------------|-----------------|----------|--|-----------------------|-----------|-------------|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS 尺度 SCALE DO NOT SCALE | 作成日付 ISSUED | 改定日付 REVISED | TITLE | PUHV-P224DMJ3(-BS,-BSG) 設備用インバータエアコン 室外ユニット外形図 | DWG.NO. W KB94C88A | REV. * | PAGE 2/2 |
| | 2024-01-09 | | 三菱電機株式会社 | | | | |

- 注1.破線は現地配線を示します。
 注2.一点鎖線は制御箱境界を示します。
 注3.入出力信号用コネクタの接続はシステム設計工事マニュアルを参照してください。
 注4.同一冷媒系統の室外ユニット間はTB3を渡り配線してください。
 注5.ファストン端子はロック機構付き端子です。取り外す際は端子中央のつまみを押しながら取り外してください。
 取り付けた後は確実にロックがかかっていることを確認してください。
 注6.機種による相違点

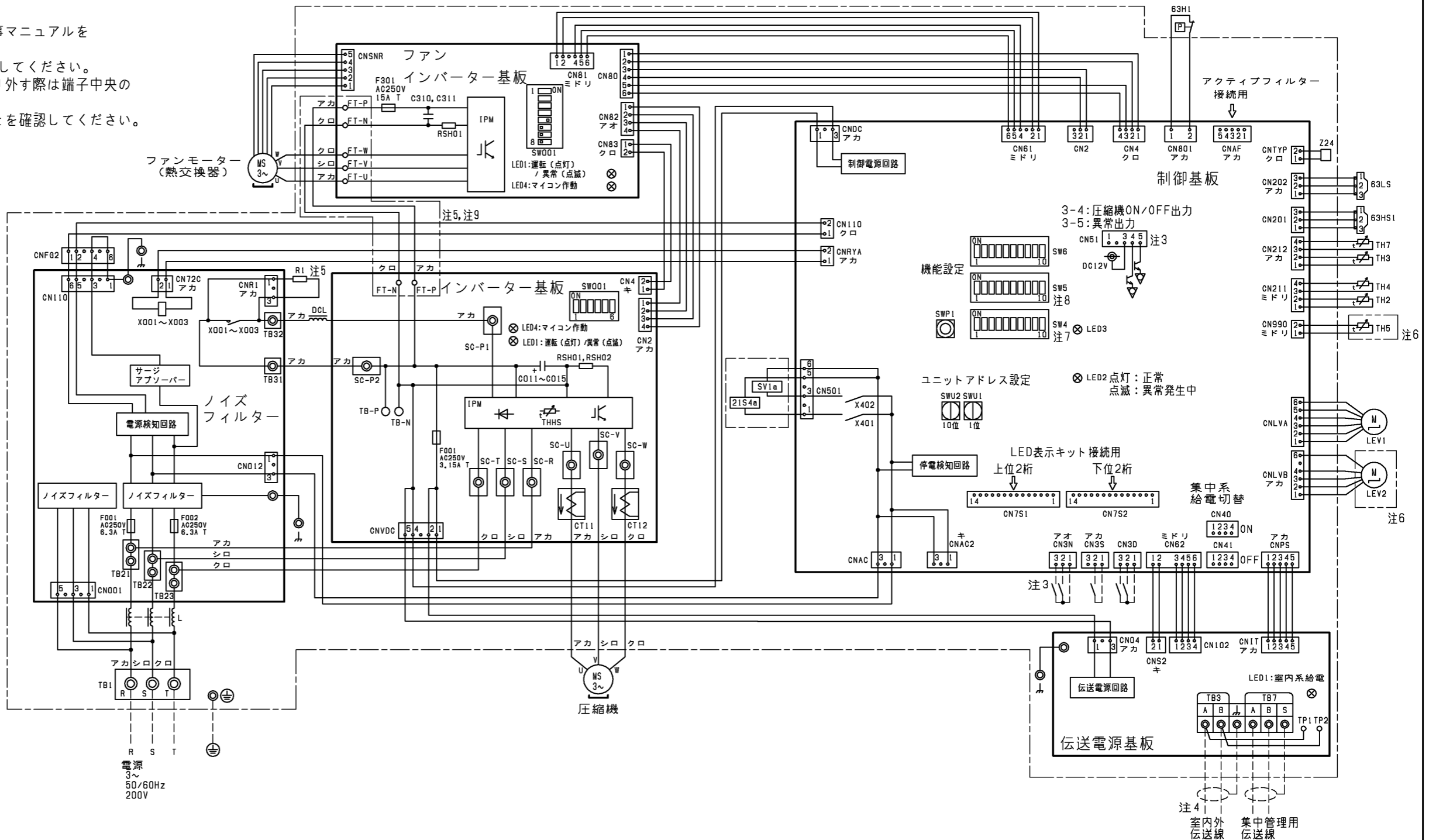
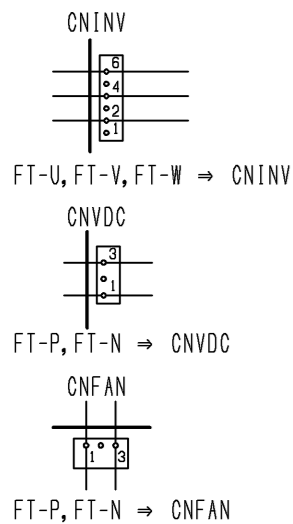
| 型名 (-BS,BSG含む) | TH5 | LEV2 |
|----------------|-----|------|
| P***DMJ | 無 | 無 |
| P***SDMJ | 有 | 有 |

- 注7.SW4:全てOFFの場合
 ・LED3 点灯:運転
 点滅:立ち上げ中
 消灯:停止
 その他の設定、モニタ項目は、据付説明書を参照してください。

- 注8.集中管理スイッチの設定 (SW5-1)

| システム構成 | SW5-1 |
|-----------------------|-------|
| システムコントローラーとの接続システムなし | OFF |
| システムコントローラーとの接続システムあり | ON |

- 注9.基板のファストン端子がコネクタ仕様の場合があります。



| 記号 | 名称 | 記号 | 名称 |
|---------------------|---|--------------|------------------|
| 21S4a | 四方弁 (冷暖切換) | RSH01, RSH02 | 抵抗 |
| 63H1 | 圧力スイッチ (高圧過昇保護) | (インバーター基板) | 電流検出用 |
| 63HS1 | 圧力センサー | SV1a | 電磁弁 (0/9下バイパス回路) |
| 63LS | 吐出圧力 | TB1 | 端子台 |
| X001~X003 | 電磁継電器 (インバーター主回路) 72C *X001のみの場合もあります。 | TB3 | 電源 |
| | | TB7 | 室内外送 |
| C011~C015 | コンデンサー (インバーター主回路) | TH2 | 集中管理用伝送 |
| CT11, 12 | 電流センサー | TH3 | SCバイパス出口温度 |
| DCL | 直流リアクター (力率改善用) | TH4 | 液管温度 |
| L | チョークコイル (高周波ノイズ除去) | TH5 | 吐出温度 |
| LEV1 | 電子膨張弁 | TH7 | Acc流入管温度 |
| LEV2 (注6) | HICバイパス流量調整 | THHS | 外気温度 |
| R1 | 抵抗 | Z24 | [PM]温度 |
| RSH01 (ファンインバーター基板) | 電流検出用 | | 機能設定素子 |

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
 THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

| | | | |
|---|------------------------------|-----------------|--|
| DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS R度 SCALE DO NOT SCALE | 作成日付 ISSUED 2024-01-05 | 改定日付 REVISED | TITLE PUHV-P224DMJ3(-BS,-BSG) PUHV-P280(S)DMJ3(-BS,-BSG) 設備インバーターエアコン 室外ユニット 電気配線図 |
| | 三菱電機株式会社 | | DWG.NO. W KE94L427 REV. PAGE 1/1 |

耐塩害・耐重塩害仕様書

1. 適用

この仕様書は、次の環境汚染地域にパッケージエアコンの室外ユニットを据付ける場合に適用されます。

- 1) 適用機種 : PUHY-P*** (S) DM-G, (S) DMG1, (S) DMG2, (S) DMG3, (S) DMG4, (S) DMG5, (S) DMG6, DMG7形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHY-RP*** (S) DM-G, (S) DMG1, (S) DMG2, (S) DMG3, (S) DMG4, (S) DMG5, (S) DMG6, DMG7, DMG7-E形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHV-P*** (S) DM-E, DMJ形, (V) (S) DMJ1, DME3, DMJ2形, (S) DMJ3形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHV-HP***DMJ形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHV-RP*** (V) DMJ形 -BS, -BSGタイプ
 : PUTV-P*** (S) DM-E, DME3形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHY-EP*** (S) DM-G, (S) DMG1, (S) DMG2, (S) DMG3, (S) DMG4, (S) DMG5, (S) DMG6, KDMG6, DMG7, KDMG7形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHY-ERP*** (S) DM-G, KDM-G, (S) DMG1, KDMG1形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHY-ERP140・160DMG2 -BS, -BSGタイプ
 : PUHV-EP*** (S) DM-E形 -BS, -BSGタイプ
 : PURY-P*** (S) DMG, (S) DMG3, (S) DMG4, (S) DMG5, (S) DMG6形 -BS, -BSGタイプ
 : PURY-EP*** (S) DMG形 -BS, -BSGタイプ
 : PURY-HP***SDMG, SDMG6形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHY-HP***SDMG3, SDMG5形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHY-WP***SDMG3, SDMG5形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHY-HRP***SDMG3, SDMG5形 -BS, -BSGタイプ
 : PUHY-WRP***SDMG3, SDMG5形 -BS, -BSGタイプ

2) 適用環境

耐塩害：潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所

- 具体的には ① 室外ユニットが雨で洗われる場所。
 ② 潮風の当たらないところ。
 ③ 室外ユニットの設置場所から海までの距離が300mを越え1km以内。
 ④ 室外ユニットが建物の影になる場所。

耐重塩害：潮風の影響を受ける場所

- 具体的には ① 室外ユニットに雨があまりかからない場所。
 ② 潮風が直接当たるところ。但し、塩分を含んだ水が直接機器にはかからない場所。
 ③ 室外ユニットの設置場所から海までの距離が300m以内。
 ④ 室外ユニットが建物の表（海岸面）になる場所。
 ⑤ 室外ユニット設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所。

海岸からの設置距離目安（設置環境により条件が変わります。）

① 直接潮風の当たるところ

| | 設置距離目安 | | | 備考 |
|------------|--------|------|-----|------|
| | 300m | 500m | 1km | |
| ① 内海に面する地域 | 耐重塩害 | 耐塩害 | 耐塩害 | 瀬戸内海 |
| ② 外洋に面する地域 | 耐重塩害 | 耐塩害 | 耐塩害 | |
| ③ 沖縄、離島 | 耐重塩害 | | | |

② 直接潮風の当たらないところ

| | 設置距離目安 | | | 備考 |
|------------|--------|------|-----|------|
| | 300m | 500m | 1km | |
| ① 内海に面する地域 | 耐塩害 | 耐塩害 | 耐塩害 | 瀬戸内海 |
| ② 外洋に面する地域 | 耐重塩害 | 耐塩害 | 耐塩害 | |
| ③ 沖縄、離島 | 耐重塩害 | | 耐塩害 | |

| | | | | | | |
|----------|-----|-------|-------|-------------|----|---|
| 三菱電機株式会社 | 作成日 | 11-05 | 仕様書番号 | WYN B0-8776 | 副番 | U |
|----------|-----|-------|-------|-------------|----|---|

2. 留意事項

耐塩害・耐重塩害仕様を使用した場合でも腐食・発錆に対して、万全ではなくパッケージエアコンの設置やメンテナンスに対し、次の事項に留意願います。

- 耐塩害仕様の場合においても海水飛沫および潮風に過度に直接さらされる場所、耐重塩害仕様の場合においても海水飛沫および潮風に過度に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置願います。
- 室外ユニット外装パネルに付着した塩分等の雨水による洗浄効果を損なわないように、日除け等は取付けしないで下さい。
- 室外ユニットベース内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、ベース内の水抜け性を損なわないように水平に据付け願います。
- 特に海岸地帯への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行って下さい。
- 据付時・メンテナンス時に付いた傷は、補修をして下さい。
- 機器の状態を定期的に点検して下さい。（必要に応じて再防錆処理や、部品交換を実施して下さい。）

3. 仕様一覧

| 部品 | | 仕様 | 標準仕様 | 耐塩害仕様(BS) | 耐重塩害仕様(BSG) |
|------------|------------|------|----------------------|--------------------|--------------------|
| ベース組立 | ベース | 素材 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| | | 膜厚 | 70μm以上 | | |
| | ベース アシ | 素材 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| | | 膜厚 | 70μm以上 | | |
| 正面パネル | | 素材 | プレコート鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| | | 膜厚 | 表:15μm以上, 裏:5μm以上 | 表:45μm以上, 裏:35μm以上 | 表:85μm以上, 裏:75μm以上 |
| 側面パネル | | 素材 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| | | 膜厚 | 表:30μm以上 | 70μm以上 | |
| 背面パネル | | 素材 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| | | 膜厚 | 表:30μm以上 | 70μm以上 | |
| 圧縮機カバー | | 素材 | 溶融亜鉛メッキ鋼板 | 溶融アルミ・亜鉛メッキ鋼板 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 |
| | | 表面処理 | - | | ポリエステル樹脂 |
| | | 膜厚 | - | | 70μm以上 |
| ファンガード | | 素材 | 耐候性ポリプロピレン樹脂 | | |
| | | 表面処理 | - | | |
| | | 膜厚 | - | | |
| プロペラファン | | 素材 | アクリルニトリル・スチレン樹脂 | | |
| | | 表面処理 | - | | |
| | | 膜厚 | - | | |
| 送風機台 | | 素材 | 溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | - | ポリエステル樹脂 | |
| | | 膜厚 | - | 70μm以上 | |
| 熱交換器(フィン部) | | 素材 | アルミニウム | | |
| | | 表面処理 | - | アクリル/エポキシ樹脂 | |
| | | 膜厚 | - | 3μm以上 | |
| 熱交換器台 | | 素材 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | ポリエステル樹脂 | | |
| | | 膜厚 | 30μm以上 | 70μm以上 | |
| 制御箱 | 外装 パネル | 素材 | 溶融亜鉛メッキ鋼板 | | |
| | | 表面処理 | - | ポリエステル樹脂 | |
| | | 膜厚 | - | 70μm以上 | |
| | プリント 基板 | 素材 | エポキシ樹脂 | | |
| | | 表面処理 | ポリウレタン系樹脂 | | |
| | | 部位 | 配線間隔が狭い部分のみ | | 全面 |
| 圧縮機 | | 素材 | 圧延鋼材 | | |
| | | 表面処理 | フェノール変性フタル酸樹脂 | | |
| | | 膜厚 | 15μm以上 | | |
| パネル固定ネジ | | 素材 | ネジ用鋼材 | | |
| | | 表面処理 | 亜鉛-ニッケル合金メッキ+ジオメット処理 | | |
| | | 膜厚 | 5μm以上 | | |

4. 適用基準

「空調機器の耐塩害試験基準 (JRA9002)」 : J R A (社団法人日本冷凍空調工業会) 制定

| | | | | | | |
|----------|-----|-------|-------|-------------|----|---|
| 三菱電機株式会社 | 作成日 | 11-05 | 仕様書番号 | WYN B0-8776 | 副番 | U |
|----------|-----|-------|-------|-------------|----|---|